

7月、国東町内4つの中学校でそれぞれ人権に関する講演会などが行われました。  
率直な感想や意見に、皆さんも共感する部分もあるのではないのでしょうか？



## 笑顔で生活できる未来のために



▲7月8日(土)城崎中学校体育館で、人権コンサートが開催され、講師の田中良彦さん(長崎県)が「心の平和を求めて—ことばを考える—」というテーマで、音楽を通じて歌と語りで参加者の心に問いかけました

私は田中さんの話を聞いて、全部の話がすごくよかったです。一番なんて決められないほどとっても良かったです。特に落書きのことが印象に残っています。普段の生活の中で「ばか」とか「死ぬ」とか使っていることがあって、その時は遊び半分とかで言っていました。でも、悪気がなくて言った一言が人を傷つけ、さらに自殺や引きこもりにもつながると思うと、とても怖いんです。「ばか」とか人を傷つけることは簡単に言えるけど、「ありがとう」とか「ごめんください」は、いざという時に恥ずかしくて言えません。一年くらい前の一時期、「ごめんください」に気をつけていた時もあったけど続

きませんでした。私の何気ない一言が人の気持ちを変えてしまうことがあるので、これから気をつけて話したいと思います。

ボランティアの話もとても良かったです。これまで何十年も経って手話や点字などが広がりました。それは今まで大人が頑張って築きあげてきたもので、今の私たちは何もしていません。でもあと何年か経ったら、私も身体が不自由な人のために何かできるといういなあと思います。

今やつとバリアフリーが広がっています。昔は今のように車いすが入るほどの電話ボックスや音で知らせる信号機などほとんどなくて、とても暮らしにくかったと思います。人の手助けがなければ皆と同じことができず、一人ですると時間がかかるので周りの人は障がいを持っていてる人を避けていたと思います。いつも周りから見られたり、悪口を言われて傷ついていたりと思います。私が大人になったら皆が笑顔で生活できる未来になるよう頑張ります。まだ今の私では力になれないことの方が多いけど、できることをして後悔をしないようにしたいです。

城崎中学校2年

平田昌代

## 前向きに生きることはカッコイイ



▲「生きることは楽しい」と話す廣道純さん

7月13日(木)の一学期末PTAで生徒・保護者・教職員を対象に人権講演会をもちました。今年も車いすアスリートで先のシドニーパラリンピックの800Mで銀メダルを獲得するなど、日本を代表する選手である廣道純さんを講師にお招きしました。

「生きることは楽しいよ」というメッセージを自身の体験とポジティブな生き方をおして伝えてくれました。昨今、世の中は暗いニュースが多く、子どもたちにとっては将来への明るい希望を持ちにくい時代ですが、大人のしか

も身体にハンデイのある人が、目標を持って明るく楽しく生きていくその姿だけで、子どもたちの励みになったと思います。

生徒の感想に『私は車いすで生活している人って不便でかわいそう』と思っていたけど、全然そうじゃなかった。いつも目標を持って毎日楽しく過ごしているような人たちも多くなるのだということを知りました。ひたすら前だけを見て全力で頑張っている廣道純さんの姿はとてもカッコいいなあと思いました。』というものがありました。

自身の事故についても、正面から受け止め、前向きに行動することで新たな目標を見つけ、目標を追うことによって目先の小さな問題を乗り越える。目標が一つクリアできると楽しいのでまた次を頑張るといって、とてもポジティブな生き方を話してくれました。

また、『誰にでも人生の中で自分を生かすチャンスは何度かある。それを生かせるかどうかは本人次第だ。』と、とても励みになる言葉をいただきました。

国東中学校PTA教養部担当

萱島幸子